

環境総合計画の重点的な点検評価

～全てのいのちが共生する社会の構築に向けて～

I 生物多様性の府民認知度を向上するために

II 生物多様性の損失を止める行動を拡大するために

2014年8月18日

環境農林水産部みどり・都市環境室みどり推進課

全てのいのちが共生する社会の 構築に向けて

1. 目標

- 生物多様性の府民認知度 70%
- 活動する府民30%増
- 保安林等の生物多様性保全に資する指定地域を新たに2000ha

2. 現状

3. 目標達成に向けた取組み

- (1) 生物多様性の重要性の理解促進
- (2) 生物多様性に配慮した行動促進
- (3) 府民と連携したモニタリング体制の構築
- (4) 生物多様性保全に資する地域指定の拡大
- (5) エコロジカルネットワークの構築推進

1. 目標

目標とする年次、指標

➤ 年次 2020年度(平成32年度)

➤ 指標

・生物多様性の府民認知度 70% (2008年 16.9%)

・活動する府民※30%増 (2009年 約7万人)

※生物多様性の損失を止める活動 : おおさか山の日(山に親しむ推進月間)イベント参加者、共生の森づくり、自然環境・里山保全活動、アドプトリバー活動参加者 等

・保安林等の生物多様性保全に資する指定地域※を新たに2,000ha拡大 (2010年度末 81,970ha)

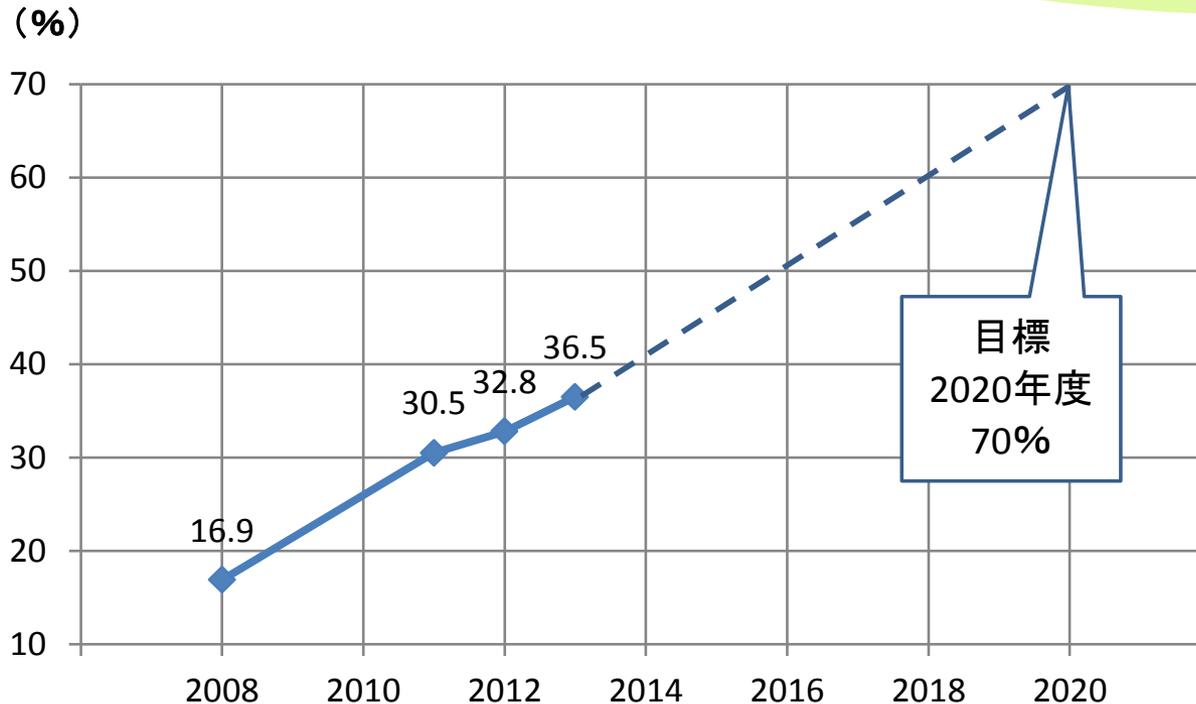
※保安林、鳥獣保護区、国定公園、近郊緑地保全区域、自然環境保全地域、緑地環境保全地域、自然海浜保全地区、国・府指定天然記念物等



生物多様性について、府民の理解を促進し、
生物の生息環境の保全と回復への行動を促進

2. 現状

生物多様性の府民認知度



大阪府インターネットモニターアンケートによる調査結果

2013年度調査(2014年3月)：モニター2,620名中1,736名回答(回答率66.3%)

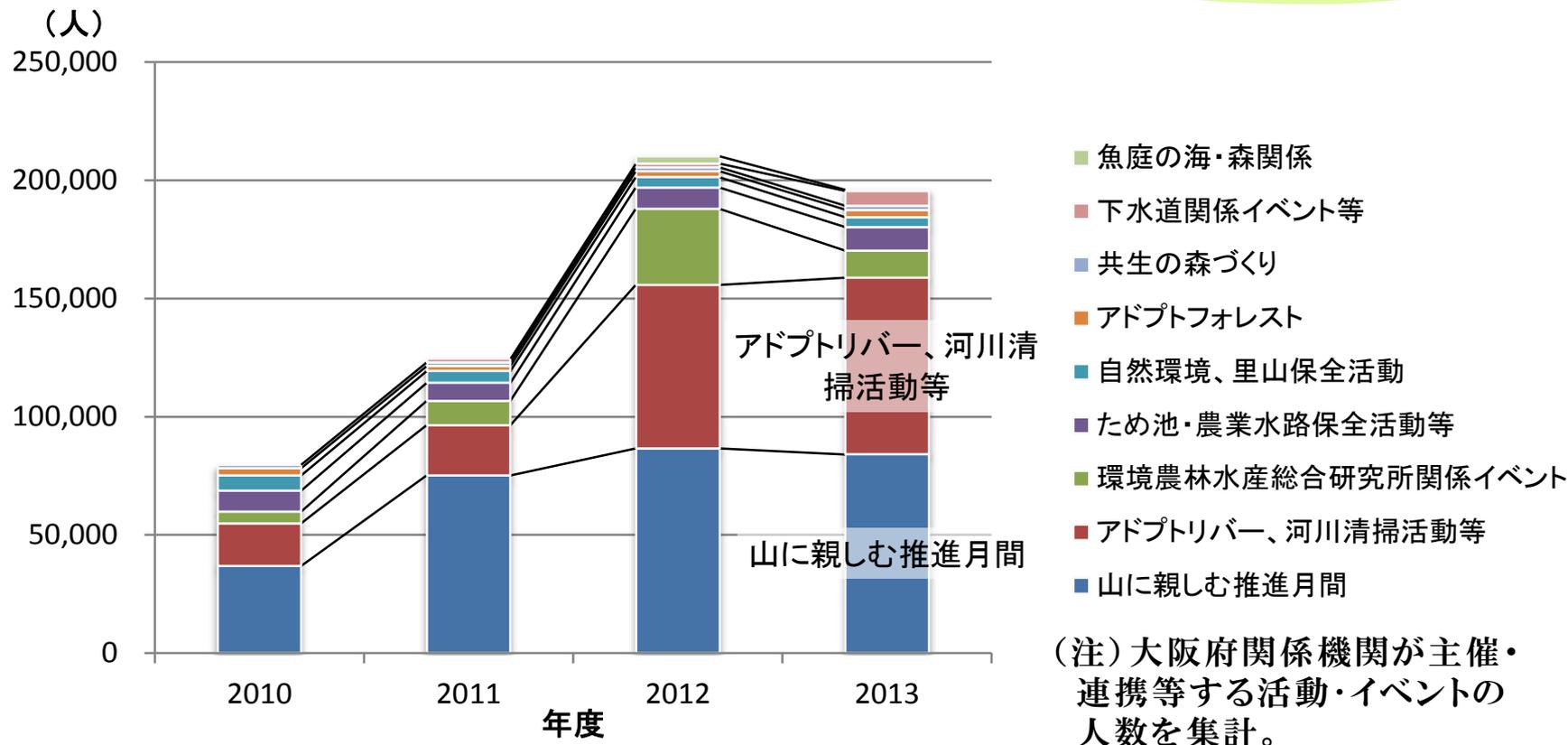
「他人にある程度説明できるぐらい内容も知っている」

「他人に説明できるほどではないが、内容は知っている」の回答の合計

※モニターは申告制であるため、府民の状況を統計的に反映したものではなく、
トレンドは参考である。

2. 現状

生物多様性の損失を止める活動に参加する府民



山に親しむ推進月間関連イベント、河川関係活動への参加者が大幅に増加 【目標：2020年度までに約9万人】は達成

2. 現状

生物多様性保全に資する地域指定

地域指定面積 (ha)	2009年度 末の面積	2010～11 年度中の 追加面積	2012年度 中の 追加面積	2013年度 中の 追加面積	2013年度 末の面積
近郊緑地保全区域	33,580	0	0	0	33,580
国定公園	16,498	0	0	0	16,498
保安林	16,388	388	215	161	17,152
鳥獣保護区	12,801	0	0	0	12,801
府立自然公園	2,594	947	0	0	3,541
自然環境保全地域	38	0	0	0	38
緑地環境保全地域	32	0	0	0	32
自然海浜保全地区	22	0	0	0	22
国・府指定天然記念物	15	0	0	0	15
特別緑地保全地区	2	0	0	0	2

2010～2013(平成22～25)年度に、地域指定は1,711ha増加

【目標 : 2020年度までに2,000ha追加】

3. 目標達成に向けた取組み

- (1)生物多様性の重要性の理解促進**
- (2)生物多様性に配慮した行動促進**
- (3)府民と連携したモニタリング体制の構築**
- (4)生物多様性保全に資する地域指定の拡大**
- (5)エコロジカルネットワークの構築推進**

3-(1) 生物多様性の重要性の理解促進

○2014年3月に大阪府レッドリストを改訂

希少種 1,452種を選定



啓発することにより、生物多様性保全の意識向上を図る



○ 生物多様性研修用プログラムの作成

教員や企業の環境担当者等を対象とした
生物多様性研修用プログラムを作成
(2014年度～)

大阪府レッドリスト2014総括表

分類群	掲載種数	絶滅	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	情報不足
1 哺乳類	17 (12)	0 (0)	4 (2)	4 (3)	5 (4)	4 (3)
2 鳥類	82 (95)	0 (0)	7 (2)	26 (27)	47 (61)	2 (5)
3 爬虫類	7 (7)	0 (0)	2 (2)	1 (0)	4 (1)	0 (4)
4 両生類	12 (7)	0 (0)	2 (1)	6 (2)	4 (4)	0 (0)
5 汽水・淡水魚類	49 (38)	0 (1)	19 (13)	10 (9)	9 (3)	11 (12)
6 昆虫類	405 (182)	22 (12)	54 (20)	86 (45)	188 (100)	55 (5)
7 クモ類	20 —	0 —	1 —	2 —	5 —	12 —
8 陸産貝類	28 (24)	0 (0)	15 (15)	4 (7)	4 (1)	5 (1)
9 淡水産貝類	31 (25)	6 (5)	10 (6)	9 (8)	4 (4)	2 (2)
10 海岸生物(無脊椎動物及び藻類)	179 —	14 —	8 —	40 —	74 —	43 —
11 その他淡水産無脊椎動物	4 —	0 —	3 —	0 —	0 —	1 —
12 維管束植物	448 (405)	86 (84)	162 (125)	85 (60)	92 (89)	23 (47)
13 コケ植物	143 —	3 —	44 —	47 —	40 —	9 —
14 菌類	60 —	0 —	5 —	22 —	24 —	9 —
合計	1485 (795)	131 (102)	336 (186)	342 (161)	505 (267)	176 (79)

※ () 内は、大阪府レッドデータブック(平成12年)で掲載した種数、また、「掲載種数」の () 内は、要注目種数を除いた数値

※ () 内の数値は参考数値(分類群の区分を変更している種があるため)

分野	掲載箇所数	Aランク	Bランク	Cランク
15 地形・地質	44	4	23	17
16 生態系	23	3	11	9
17 生物多様性ホットスポット	55	16	11	28

3-(2) 生物多様性に配慮した行動促進 (1)

○活動の場、仕組みづくり

① アドプトフォレスト

市町村・府・森林所有者、事業者等の4者間で協定を結び、事業者等が間伐、植樹、下草刈り、竹林の整備など森づくりの活動を行うもの。

2013年度：46団体 3,025人 37箇所

② 共生の森づくり

臨海部の産廃処分場跡地である堺第7-3区の中の100haの区域を、市民・NPO等の参加のもと、生物多様性の高い森として整備する。(平成16年～)

植樹・草刈・自然観察など

2013年度:約1ha、5,281本植栽、1,742人、34団体参加

③ 多奈川ビオトープ

岬町多奈川地区多目的公園内ビオトープを、府民・企業との協働で管理・育成

森林浴&ビオトープハイキングにおける自然観察イベントを開催。(2009年度～)

活動参加者数：2014年度(8月現在) 約350人



3-(2) 生物多様性に配慮した行動促進 (2)

○天然記念物の淡水魚イタセンパラの 野生復帰の試み



自然環境保護や生物多様性の重要性に
ついて理解を深める

(2013年度)

- ・イタセンパラの観察会(1回117人)
- ・出前講座(2回、100人)
- ・出張展示(1回、約200名)



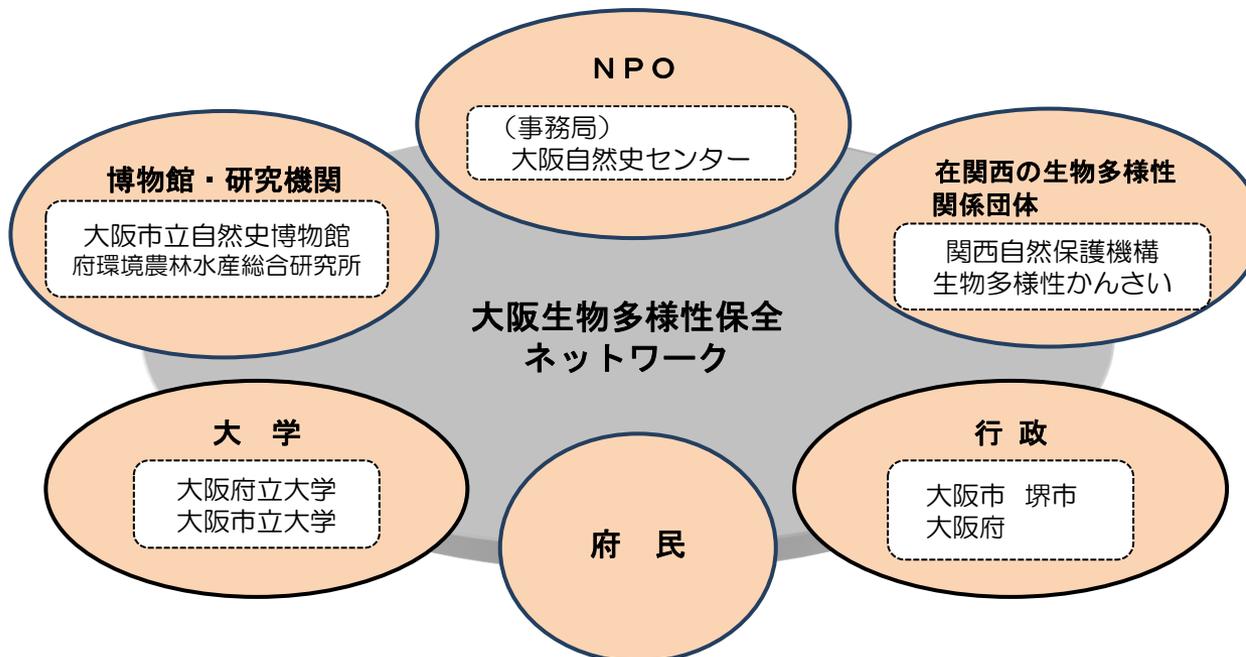
3-(3) 府民と連携したモニタリング体制の構築

○大阪生物多様性保全ネットワーク

府内の生物多様性に知見を有する大学、研究機関、活動団体、行政等で構成する大阪生物多様性保全ネットワークを組織、府内における生きもの情報を共有・一元化し、モニタリング体制を構築

現在、10団体で構成

個々の専門家が持つデータ・ノウハウを集約し、効率的なレッドリストの改訂や保全活動・情報発信・普及啓発



(2012年度)
レッドデータブック見直し作業

(2013年度)
大阪府レッドリストの作成
1,000部

(今後)
・継続的にモニタリングを行い、一定の周期でレッドリストを改訂
・普及啓発の実施

3-(4) 生物多様性保全に資する地域指定の拡大

主な地域指定の内容、追加指定の経過等

①緑地環境保全地域

樹林地、水辺等を含む区域の自然環境の保全のため指定、造成等を規制
2014年度7月 : 4.78haを指定

②保安林

水源かん養、防災、生活環境の保全等の目的で指定、立木伐採・造成を規制
2010~2013年度 : 764ha追加指定

③鳥獣保護区

野生鳥獣の保護上重要な森林、鳥類の集団渡来地として重要な河川等を指定
2010~2013年度 : 追加指定なし
今後 : 大阪府鳥獣保護計画に基づき、2014年度に112ha指定予定

④府立自然公園

2011年7月7日 阪南・岬自然公園区域を指定(947ha)
和泉南西部の海から山まで繋がる優れた景観・自然環境の保全を図る
近畿自然歩道の整備を実施(2011年度~)

3-(5) エコロジカルネットワークの構築推進 (1)

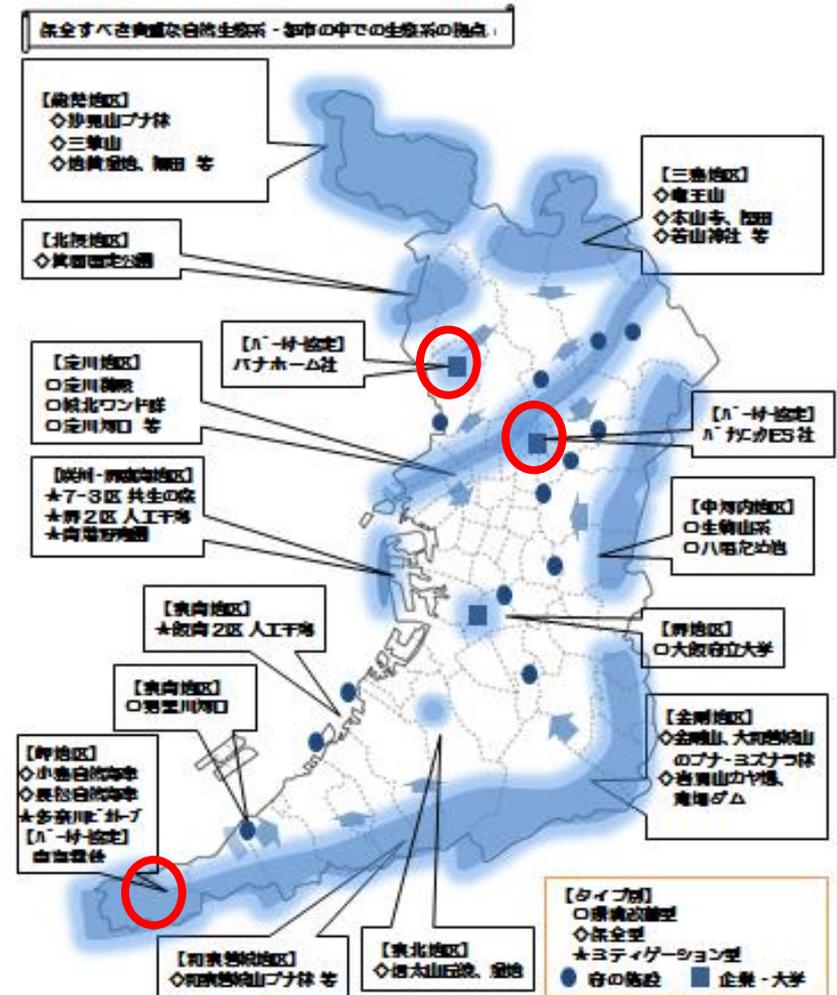
(1) おおさか生物多様性 パートナー協定(企業)

生物多様性保全活動に取り組む企業を大阪府及び専門機関等が連携して支援するとともに、府が当該企業のPRや推奨を行うことで、企業の自主的な生物多様性保全活動を促し、企業価値の向上を図る。

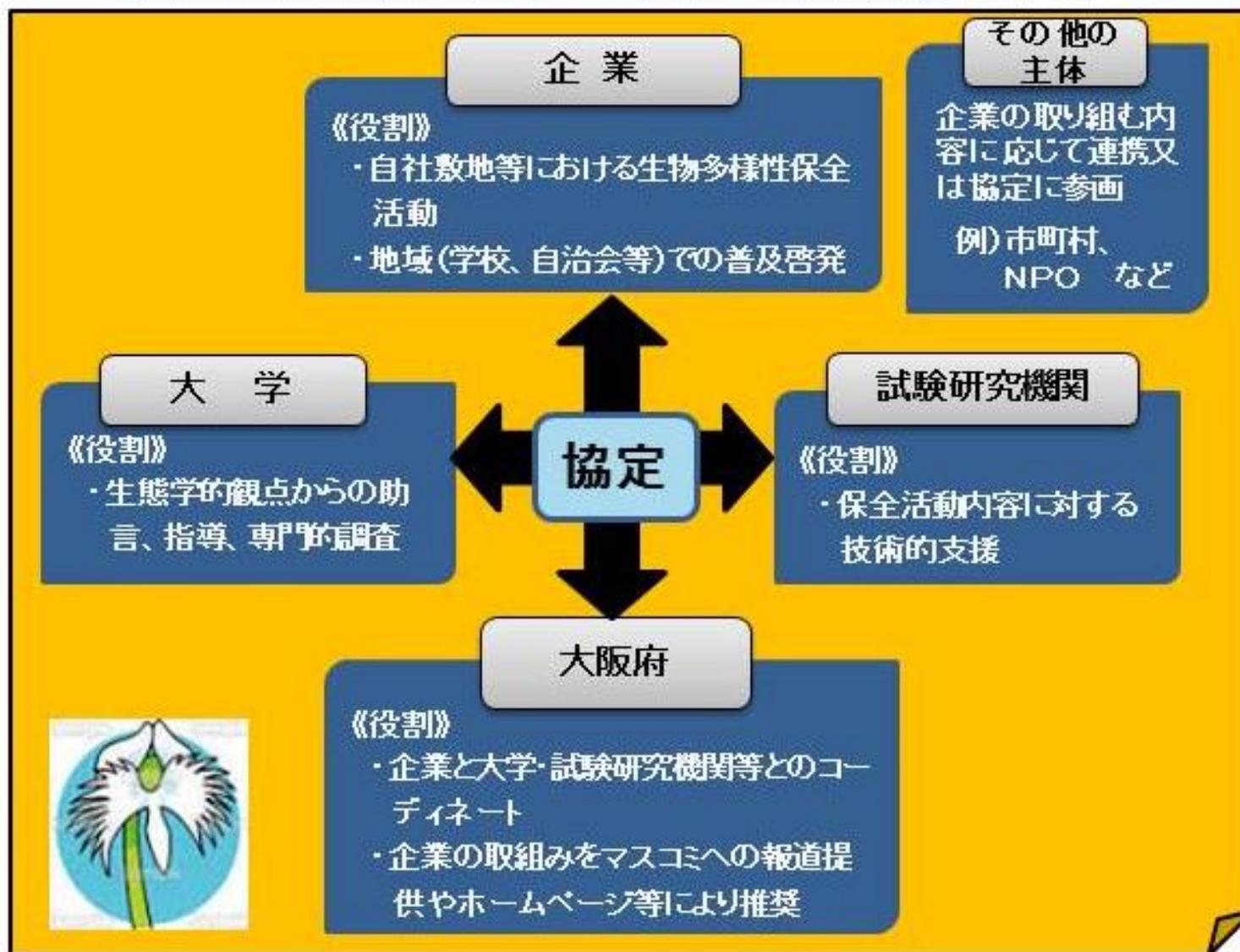
協定締結実績:3件

(今後)

協定締結を増やすことにより、緑の拠点を増やし、生態系のネットワークの広がりを推進する。



おおさか生物多様性パートナー協定制度の概要



パナソニック(株)エコソリューションズ社が協定締結

「おおさか生物多様性パートナー協定」制度の第1弾として、パナソニック(株)エコソリューションズ社が、協定を締結し、宣言書調印式を2013年11月8日に実施。

宣言書調印(エコソリューションズ社にて)



府立大学 石井副学長
パナソニックエコソリューションズ社 木村常務
大阪府 小河副知事
環境農林水産総合研究所 大河内理事長



地元メダカの放流



ボランティアへ感謝状贈呈



はんえいのひろばの展示パネル

パナソニック(株)エコソリューションズ社の協定内容

協定者:大阪府立大学、府立環境農林水産総合研究所、大阪府

協定締結:2013(平成25)年11月

活動場所:本社はんえいのひろば ビオトープ(門真市)

・ビオトープでの希少種(北河内地域の個体群)の保護

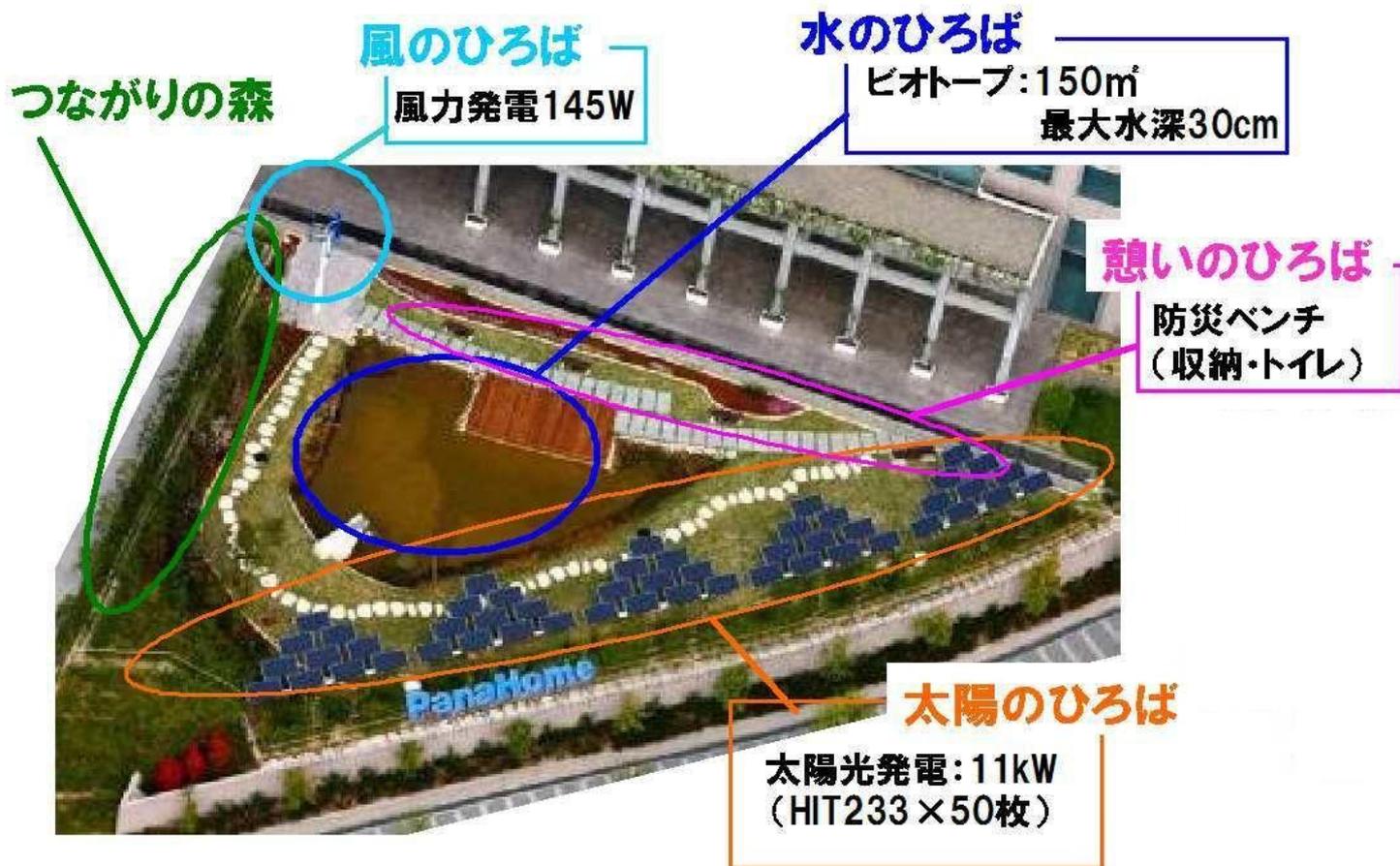
魚類:カワバタモロコ(絶滅危惧Ⅰ類)、ミナミメダカ(絶滅危惧Ⅱ類)

植物:ミズアオイ(絶滅危惧Ⅰ類)

・社員ボランティアによる定期的なビオトープの管理や調査

・ホームページでの定期的な情報発信

パナホーム『つながりのひろば』



パナホーム(株)

パナホームの『つながりのひろば』は、「みどりの風促進区域」である大阪中央環状線沿いに位置しており、周辺に点在する緑地や水辺を等間隔につないでいる。



島熊山緑地

PanaHome

千里東町公園

千里中央公園

みどりの風促進区域

パナホーム株式会社は、平成24年度 大阪府みどりの風の道形成事業に参画しています。



(東西に走る 大阪中央環状線と南北に走る 国道423号線:新御堂筋の交差する箇所に位置)

パナホーム(株)の協定内容

**協定者:大阪府立大学、府立環境農林水産総合研究所、豊中市、
大阪府**

協定締結:2014(平成26)年2月

活動場所:本社つながりのひろば ビオトープ(豊中市)

・ビオトープでの希少種(北摂地域の個体群)の保護

魚類:ミナミメダカ(絶滅危惧Ⅱ類)

カワバタモロコ(絶滅危惧Ⅰ類)

・ビオトープを活用した環境教育

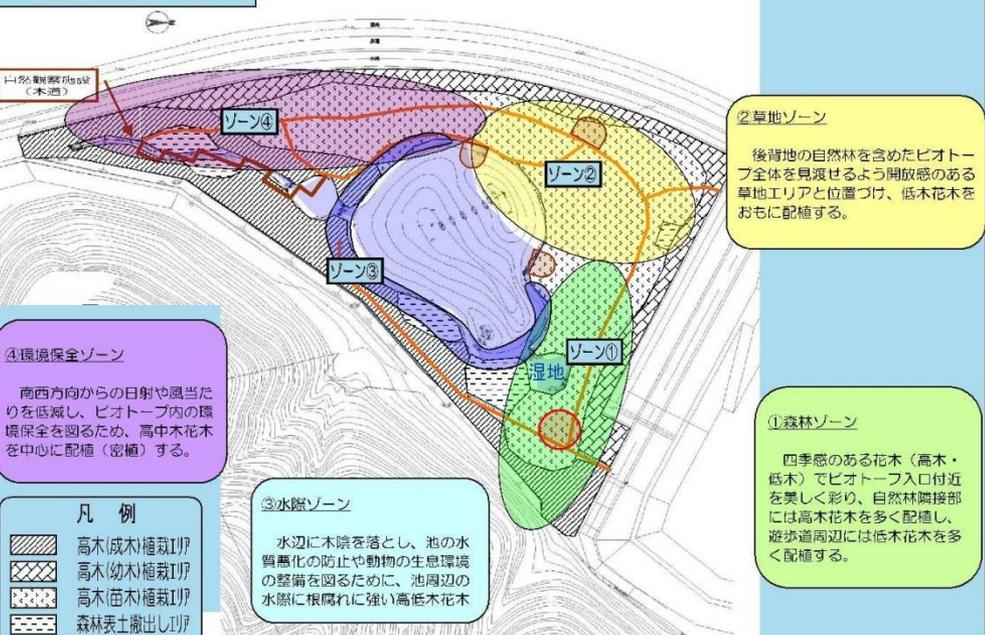
南海電気鉄道(株)

岬町多奈川地区多目的公園(関西空港土採跡地)内ビオトープ

岬町多奈川地区多目的公園平面図



多奈川ビオトープ



南海電気鉄道(株)の協定内容

協定者:府立環境農林総合研究所、岬町、大阪府

協定締結:2014(平成26)年3月

活動場所:いきいきパークみさき ビオトープ(岬町)

- ・府民参加型の自然観察会
- ・定期的な保全活動
- ・ハイキングイベントでの活用など



3-(5) エコロジカルネットワークの構築推進 (2)

2) チョウのまちプロジェクト(2013年度)

(府民・地域)

府民が生物多様性保全に取り組む機会を提供するため、モデル地区を設定。地区内の小学校で、大阪府立大学と連携し、チョウを対象とした環境学習を実施。実施3校 参加者数326人

モニタリングシート、観察図鑑、チョウを指標とした環境評価の手法を策定。

